

ぼらんちゅ通信

14 冬号



ぼらんちゅとは…ボランティアで周りを笑顔にするステキな人。活動内容や、ボランティアの様子をちょこっと紹介します。

作業所わくわくでのミシンボランティア

今回は中区の作業所わくわくでミシンの活動をされているSさんに、活動について教えていただきました(^ ^)

あなたの趣味や特技を活かして、ボランティアしてみませんか？



★ボランティアをはじめたきっかけは？

→仕事を定年退職したあと、「もう少し、世の中と関わっていたいな」という思いもあり、社会福祉協議会のボランティア入門講座を受けました。そのときに偶然「ミシンの使える方」という募集の案内を見て、活動を始めました。始めてから3年になりますね。

★どのような活動をされていますか？

→月に2回（第1・第3金曜日）10～15時（休憩1時間）の間、作業所のメンバーの方と一緒に、バザーなどの販売商品や、企業からの下請けの製品をミシンで縫製しています。日によって商品が異なるので、作業所の職員の方に聞きながら作業しています。

★ボランティアをして良かったことは？

→障がいのある方が働く作業所と聞いて、はじめは不安もあったのですが、徐々に作業所のメンバーの方とも会話ができるようになり、最近では商品のアイデアを出し合ったりして、和気あいあいと楽しく活動をしています。



何かを作り上げた時の喜びや、目標のものが出来上がった時、達成感を味わえます。これがボランティア活動を続けている理由かもしれませんね。作業所で働くメンバーの皆さんが、楽しみや仕事のやりがいをもっと感じられたり、生活しやすい社会になるといいなあ…と思いつつ、これからも頑張りたいと思います。



Sさん、素敵な活動について教えていただき、ありがとうございました！

～作業所わくわく ミシンボランティア募集中！まずは見学してみませんか～
 日時：水曜日～金曜日 10時～15時の間、可能な曜日、お時間（月1回～）
 場所：作業所わくわく（住所：中区小網町7-8大和ビル1階）
 内容：巾着や布バッグなどの、簡単なミシン縫製
 問合せ：中区社会福祉協議会/ボランティアセンター（☎082-249-3114）まで

コーディネーターのつばやき

ボランティアまつりが終わり、気が付けば年末が迫ってきました。今年は、広島で大きな災害が起こってしまいましたが、同時に、全国からの支援の活動について知ることができたり、県内外の多くの方が団結する姿を目の当たりにした、忘れられない1年となりました。災害は起こらないのが一番ですが、万が一の時の備えや、日ごろからの周りの方とのつながりが大切であることを改めて感じました。

中区ボランティアだより

〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
 TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956
 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp
 ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/

2014年
12月号



祝 グループ虹(音訳ボランティアグループ)が厚生労働大臣表彰を受賞しました!

平成26年11月26日、広島市社会福祉大会にて、中区の音訳グループ「グループ虹」に厚生労働大臣表彰が授与されました。「グループ虹」は平成7年の設立から、長年にわたって音訳の活動に取り組み、視覚障がいのある方へ、文字を音声に換えて情報を伝えてこられました。受賞おめでとうございます。



平成27年2月からは、下記の通り講座を開催予定です。ボランティア活動に関心のある方、声を出すのが好きな方、あなたの「声」でボランティアを始めてみませんか。

音訳ボランティア入門講座

回	日時	内容	講師
1	2月 2日 (月)	●音訳体験 (3回)	講師：グループ虹
2	2月 9日 (月)		
3	2月16日 (月)		
4	2月23日 (月)	●音訳リスナー (当事者の方) との交流会	

※開催時間は全て10:00～12:00です。

- 【対象】 講座終了後、音訳ボランティアグループで活動をお考えの方
※中区での活動をお考えの方を優先させていただきます。
- 【場所】 中区地域福祉センター ボランティア研修室
(中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階)
- 【定員】 20名 (定員になり次第締め切り)
- 【主催】 社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会
- 【協力】 グループ虹
- 【申込】 上記の宛先まで、電話またはFAX、Eメールにてお申込みください
※Eメールでお申し込みの際には、件名に「音訳ボランティア入門講座申込」と記入してください

参加費は無料です。初めての方も大歓迎です★



祭 ボランティアまつりのご報告

平成26年10月25日(土)、「第18回なかくボランティアまつり」を開催しました！
当日は天候にも恵まれ、会場である中区地域福祉センターに 総勢660名もの方にお越しいただき、盛況のうち無事に終えることができました。今年も多くの方からバザー物品の提供をいただきました。ご協力いただき感謝申し上げます。また、前日準備や当日と、参加いただいた方、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。
ほんの一部ですが、今年のボランティアまつりをご紹介します！

一致団結！大盛り上がり★

今年は、ボランティアまつりを更に盛り上げるべく、1階の作業所販売コーナーで「お祭りハッピー」を着たり、中区の作業所で作成した看板・案内板・ポスターなどの掲示物で飾りつけをしたり... 楽しくにぎやかな雰囲気です。祭りがスタートしました！



▲初参加の作業所の仲間みなさんが、初スカート♥で盛り上げてくれました

福祉体験コーナー

5階・4階の福祉体験コーナーでは、来場者が7種類の体験に挑戦されていました。当日は、中区のボランティア連絡会の皆さんが各コーナーを担当され、楽しい体験となるよう工夫をしながら取り組まれました。来場者の方からは、「音訳のボランティアを初めて知った！」「ボランティア活動やってみよう！」といった嬉しい感想が寄せられました。



▲アイマスク体験の様子。飲料紙パックを触る体験。牛乳パックにだけ、目印があるんだね～！



ハッピー呼び込み♪ いらっしゃ～い！

各フロアの様子



▲紙芝居を懐かしむ大人も、初めて見る子ども達も楽しまれていました

今年度初めて開催した、紙芝居コーナーは、中区の個人ボランティアの方が担当されました。温かく懐かしい語り口に、子どもから大人まで聞き入っていました。また、軽食・喫茶コーナーやバザーコーナーも大盛況で、お弁当や作業所で作ったクッキーなども完売しました。その他、土砂災害関連の取組みについて案内するコーナーを設けたり、ステージコーナーでは災害に関する発表がボランティアグループよりありました。

なかくボランティアまつりでは、「なかくボランティアまつり実行委員会」を中心に、ボランティア連絡会、作業所のメンバー・職員、地域の方など100名以上の方に運営などのご協力をいただいております。ありがとうございました。

ボランティアまつりで考える”8.20”

ボランティアまつりの約2ヶ月前に起こった広島土砂災害。当日、手話サークルあすなろのステージ「聞こえないってどんなこと？」では、聴覚障がいの方が直面した災害時のエピソードについて発表され、大きな反響がありました。その他、災害に関する掲示物を設置し、ボランティアの方、来場者の方と土砂災害について考えました。

手話サークルあすなろ ステージ「聞こえないってどんなこと？」より一部抜粋
「聞こえない人が暮らしのなかで困っていること」

災害時 (町内放送) 警報！洪水警報が発令！川沿いの方は避難してください！

避難所にて... (ボランティア) みなさん、起きて下さい！温かい毛布やおにぎり、懐中電灯を取りに来て下さい！

(聞こえる人の家) 雨の音がひどい！避難しよう！

(聞こえない人の家) そのうち止むかな...

(聞こえる人) よし、取りにいかなくちゃ！

(聞こえない人) 寝て気付けない...

起きた後に気付いて取りに行ったらもう無くなってた...など、情報が届かず損をすることも。

聴覚障がいの方に情報を伝える時は、①口をはっきりと開けて話す、②身振り(ジェスチャーを付ける)、③メモを書く時には文章よりも要点をまとめて書く、ことを意識してみてください。災害時、自分の身の安全をしっかりと守ることが優先です。ただ、もしお近くに困っている方がおられたら...この発表のことを思い出してみてください。

まつり後の「ボランティアまつり実行委員会」で協議をした結果、今年度はまつりを通して得た収益の一部について、土砂災害の支援金(ボランティア活動をされる方を支援するための資金)として、寄付をさせていただくこととなりました。その他のまつりの収益は中区のボランティア活動の資金として大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

8.20広島土砂災害について

8月20日に発生した大雨による土砂災害では74名の市民が犠牲となり被災世帯は5,000世帯にもおよぶ甚大な被害となりました。今後も地域の復興状況やボランティア活動の状況につきましては広島市社会福祉協議会のホームページ等でお伝えしていきますので、引き続きのご協力をお願い致します。

日	内容	備考
8月20日	土砂災害発生	(沿革)
8月21日	広島市災害ボランティア本部設置	(ボランティアの方の活動)
8月22日	安佐南区・安佐北区災害ボランティアセンター開設	
8月23日	ボランティア受入れ開始	
9月9日	県外ボランティア受け入れ開始(9月末の延べ活動者数: 41,679人)	
10月～	広島市災害ボランティア本部→広島市復興連携本部へ転換 安佐南区・安佐北区災害ボランティアセンター →復興連携センターへ転換	
11月～	ボランティアの受付は事前登録制とし、平日を中心に要望に応じた活動調整を実施。	

8～9月
災害支援
(土砂出しがメイン)

10月以降
復興・生活の支援
(少人数対応の清掃等のニーズにきめ細かく対応)